

原田裕規個展

周防大島アートプロジェクト
2023

2023.6.20 → 7.9

9時30分～16時30分
※月曜休館



やつぱり世の中で
一ばんえらいのが
人間のようでございす



原田裕規《Shadowing》2023年

日本ハワイ移民資料館

(山口県大島郡周防大島町西屋代上片山21144／0820-741-4082)

入館料 大人400円、小・中学生200円

主催 周防大島地人協会

協賛 大島国際交流協会

後援 周防大島町教育委員会、一般社団法人周防大島観光協会

助成 公益財團法人朝日新聞文化財團、公益財團法人エネルギー文化・スポーツ財團、

公益財團法人きょうと視覚文化振興財團

協力 泊清寺
キーレーション 塚本麻利（高知県立美術館主任学芸員）

本展についてのお問い合わせ 周防大島地人協会（山城）／090-4654-7797



原田裕規個展

やつぱり世の中で
一ばんえらいのが
人間のようでございす

日本ハワイ移民資料館を舞台に、アーティスト・原田裕規（1989-）の新作展を開催します。

本展で発表する『Shadowing』は、周防大島とゆかりの深い「ハワイ移民」や島出身の民俗学者・宮本常一

（1907-1981）の著作をモチーフとした映像作品。本作では、ハワイの日系アメリカ人に扮した「デジタルヒューマン」としての作家が、日系人に伝わる民間伝承に基づくさまざまなエピソードを語ります。

「やつぱり世の中で一ばんえらいのが人間のようでございす」

メッセージ性の強い展覧会名は、宮本常一による聞書

「梶田富五郎翁」からの引用。昭和25年に宮本が対馬で

出会ったひとりの老人、梶田翁の台詞です。翁の人生の実感が集約されたこの言葉には、前進する人間の性（さが）を肯定する宮本のまなざしが内包されています。



原田裕規（はらだ・ゆうき）
1989年、山口県生まれ、岩国市・広島市育ち。アーティスト。東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了。2019年からは断続的にハワイに滞在。広島市現代美術館・鶴見分室101・京都芸術センター、金沢21世紀美術館などで個展を開催。著書『とるにたらない美術』（ケンエレブックス）が近日刊行予定。



日本ハワイ移民資料館（旧福元邸）

1 アーティストによるギャラリートーク

原田裕規による館内ギャラリートークを行います（要入館券）
6月20日（火）、7月9日（日）いずれも14時～

2

対談・畠中章宏 × 原田裕規

今年5月に『宮本常一歴史は庶民がつくる』（講談社による対談を行います）

料金：500円（要別途入館券）

定員：15名（当日先着順）

7月2日（日）14～15時

周防大島をめぐるなう

※詳細情報は会場設置のHP等をご覧ください

宮本常一をもっと知ってみませんか？

① 宮本常一記念館
【会場から車で35分】
0820-78-2514 / 9時30分～18時、
水曜休館（月末に休館日あり）/ 入館料：大人300円／宮本常一の足跡を知ることができます。できる資料などを展示。

② 久賀歴史民俗資料館
【会場から車で25分】
0820-72-2601 / 9～16時30分、
月曜休館／入館料：大人400円／宮本常一の指導で集められた民具を展示。ハワイ移民の資料もあります。

③ カフェ＆レストラン「Join us」
【会場から車で3分、徒歩15分】
0820-74-3839 / 11時30分～16時
(食事は14時まで)、日曜定休(土曜は14時まで)／大島文化センター内。洋食メニューやロコモコあります。

④ Hawaiian Tacos B-3 cafe
【会場から車で35分】
0820-78-0033 (道の駅サザンセトウガわ) / 11～15時、火・水曜定休／宮本常一記念館近く、道の駅の中。ハワイ料理いろいろ。

日本ハワイ移民資料館について

1999年にオープン。5000人を超える島民がハワイに渡った周防大島の移民の歴史を伝えるために、当時の暮らしを知ることのできる資料や道具が展示されている。建物は、アメリカに渡り貿易商として成功した故・福元長右衛門が1928年に建設した邸宅を再生活用したもの。

※駐車場は2ヶ所あり、川沿いの駐車場はマイクロバス専用

【公共交通機関を使った場合】

JR大島駅から乗合タクシーで18分（奥畑線乗合タクシー屋代橋バス停下車、乗合タクシーの時刻表は周防大島町公式HPをご覧ください）
屋代橋バス停から徒歩で3分

交通案内

【自家用車の場合】

山陽自動車道玖珂I・Cから車で25分（国道437号線・大畠・大島方面へ）
大島大橋南詰から車で10分（右折、県道4号屋代ダム方面へ）
※駐車場は2ヶ所あり、川沿いの駐車場